

事業報告

第 5 期

自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日

沖縄県那覇市字鏡水400番地E棟
那覇空港貨物ターミナル株式会社

事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 当該事業年度における事業の経過及び成果

平成 25 年度の国内経済は、政府による各種政策効果などにより家計や企業のマインドが改善し、消費等の内需を中心に景気回復の動きが広がりました。また、企業収益の増加から設備投資が持ち直しつつあり、雇用・所得環境が改善していく中で景気回復の動きが確かなものとなりました。

県内景況をみると、観光関連や建設関連が好調に推移しているほか、個人消費関連による景気の下支えの動きもみられたことから景気拡大の動きが強まりました。また、消費税引き上げに伴う駆け込み需要増の動きもみられました。

個人消費関連では、食料品関連需要が堅調に推移したほか、太陽光パネル、白物家電、および自動車などの耐久消費財の売り上げが増加し、景気を下支えする動きに力強さがみられました。

建設関連では、国、県の発注工事増などにより公共事業請負金額が前年度比増加となったほか、新設住宅着工戸数、生コンなどの建設資材は住宅需要増が押し上げ要因となり前年度を上回りました。

観光関連は、LCCの海外路線の新規開設、新石垣空港の開港効果などに加え、既存のアジア路線の増便、機材の大型化、大型クルーズ船の寄港などが寄与して入域観光客は658万人（年度）となり、平成20年度の593万人を超え過去最高を記録しました。さらに、それに連動してホテル稼働率も堅調に推移しました。

このような状況の下で、当社は、安全面や利便性の確保を第一義とし貨物ターミナルの管理・運営を行う一方、入域観光客の増加を図るべく当ターミナル内一面のLCC旅客ターミナルの一層の拡充にも注力してまいりました。

以上を背景に、当期の売上高は、賃料の値引きを主因として前年度に比べ137,557千円減少し1,408,155千円を計上しました。販売費及び一般管理費は45,731千円増加し907,406千円となり、営業利益は183,288千円減少の500,749千円となりました。また、経常利益は164,328千円減少し425,810千円、当期純利益は99,491千円減少し265,623千円となりました。

(2) 設備投資等の状況

当事業年度の設備投資総額は17,750千円で投資総額の内訳は、次のとおりです。

構 築 物	17,750 千円
合 計	17,750 千円

(3) 資金調達の状況

記載すべき事項はありません。

(4) 直前3事業年度の財産および損益の状況の推移

区分	平成23年度 第3期	平成24年度 第4期	平成25年度 第5期
売上高	1,479,598千円	1,545,713千円	1,408,155千円
当期純利益	302,124千円	365,114千円	265,623千円
1株当たり当期純利益	3,021円24銭	3,651円15銭	2,656円24銭
総資産	9,202,293千円	9,410,924千円	8,836,853千円
純資産	1,351,764千円	1,716,879千円	1,982,503千円

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均株式数に基づき算出しております。

(5) 対処すべき課題

県の「沖縄21世紀ビジョン基本計画」における「アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成」構想の下、国際貨物物流は近年漸増的なトレンドを示しているところであります。

他方、平成24年10月より稼働しておりますLCC旅客ターミナルは特段の問題なくスムーズに運営されております。

さらに、平成26年2月にLCC国際線ターミナルが供用開始されたことにより、アジアゲートウェイとして日本とアジア地域の人の往来が一層増加することなどが期待されます。

そのような状況下、当社はその運営にあたりまして、安全面や保安面をより一層強化するとともに、利便性の向上にも努めてまいり所存であります。

(6) 主要な事業内容

空港貨物ターミナル事業として次の事業を経営しております。

- 1 那覇空港内施設の運営・管理・賃貸に関する事業
- 2 不動産の管理・賃貸に関する事業
- 3 食料品並びに衣料品、日用雑貨の販売業
- 4 産業廃棄物収集、運搬、処理業務
- 5 航空事業者、航空旅客並びに航空貨物に対する役務の提供
- 6 建物および電気、給排水、空気調整等、保安、運転管理

(7) 主要な営業所および工場の状況

本 社 沖縄県那覇市字鏡水400番地E棟

賃貸不動産 那覇空港貨物ターミナルA棟、B棟、C棟、D棟

(8) 主要な借入先および借入額

借入先	期末残高
沖縄振興開発金融公庫	3,722,730 千円
(株) 沖縄銀行	822,784 千円
(株) 琉球銀行	274,320 千円
(株) 沖縄海邦銀行	274,176 千円
沖縄県	1,026,672 千円

(9) 従業員の状況

区分	従業員
男子	3名
女子	2名
合計	5名

(注) 上記の従業員数には、使用人兼務役員は含んでおりません。

2. 会社役員に関する事項

役名	氏名	担当又は主な職業
代表取締役社長	當銘 賢一	大栄空輸株式会社 代表取締役会長
取締役	安里 文雄	大栄空輸株式会社 相談役
取締役	神谷 暁	常務取締役 総務担当
取締役	石田 洋平	全日本空輸(株) 沖縄空港支店 支店長
取締役	下地 明和	沖縄県 商工労働部産業振興統括官
取締役	宮城 健三	沖縄振興開発金融公庫 融資第一部長
監査役	金城 唯士	株式会社沖縄銀行 常務取締役
監査役	高良 幸明	株式会社琉球銀行 常務取締役

(役名は平成26年3月31日現在)

3. 株式に関する事項

- | | |
|---------------|-----------|
| ① 会社の発行可能株式総数 | 300,000 株 |
| ② 発行済株式の総数 | 100,000 株 |
| ③ 株主数 | 11 名 |

株主の氏名又は名称	住 所	所有株式数 (株)	持ち株比率
大栄空輸(株)	沖縄県豊見城市字豊崎 3 番地 27	30,000	30.0%
沖縄県	沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号	25,000	25.0%
沖縄振興開発金融公庫	沖縄県那覇市おもろまち1丁目2番26号	20,500	20.5%
ANA ホールディングス(株)	東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シーセンター	7,500	7.5%
(株)沖縄銀行	沖縄県那覇市久茂地3丁目10番1号	5,000	5.0%
(株)琉球銀行	沖縄県那覇市久茂地1丁目11番1号	2,000	2.0%
(株)沖縄海邦銀行	沖縄県那覇市久茂地 2 丁目 9 番 12 号	2,000	2.0%
大同火災海上保険(株)	沖縄県那覇市久茂地 1 丁目 12 番 1 号	2,000	2.0%
沖縄電力(株)	沖縄県浦添市牧港5丁目2番1号	2,000	2.0%
那覇市	沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 1 番 1 号	2,000	2.0%
那覇空港ビルディング(株)	沖縄県那覇市字鏡水 150 番地	2,000	2.0%
合 計		100,000	100.0%

(本事業報告中の記載数字は、金額および株数については、表示単位未満を切り捨て、比率その他については四捨五入しております。)

損益計算書

那覇空港貨物ターミナル株式会社

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
【売 上 高】		
施 設 利 用 料	1,182,527,769	
施 設 管 理 収 入	174,277,208	
手 数 料 収 入	4,883,679	
業 務 受 託 収 入	46,466,755	1,408,155,411
	売 上 総 利 益 金 額	1,408,155,411
【販売費及び一般管理費】		907,406,366
	営 業 利 益 金 額	500,749,045
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	4,261,067	
雑 収 入	35,659,108	39,920,175
【営 業 外 費 用】		
支 払 利 息		114,859,011
	経 常 利 益 金 額	425,810,209
	税引前当期純利益金額	425,810,209
	法人税、住民税及び事業税	153,705,835
	法 人 税 等 調 整 額	6,480,512
	当 期 純 利 益 金 額	265,623,862

株主資本等変動計算書

那覇空港貨物ターミナル株式会社

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

単位：円

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
				繰越利益剰余金			
当期首残高	365,000,000	556,746,082	556,746,082	795,133,592	795,133,592	1,716,879,674	1,716,879,674
当期変動額							
当期純利益				265,623,862	265,623,862	265,623,862	265,623,862
当期変動額合計	-	-	-	265,623,862	265,623,862	265,623,862	265,623,862
当期末残高	365,000,000	556,746,082	556,746,082	1,060,757,454	1,060,757,454	1,982,503,536	1,982,503,536

個別注記表

那覇空港貨物ターミナル株式会社

自 平成25年 4月 1日
至 平成26年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・法人税法に基づく定率法、ただし平成10年4月1日以降に取得した建物については定額法

計算書類作成のための重要な事項

消費税の会計処理・・・税抜方式

株主資本等変動計算書に関する注記

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行可能株式総数	普通株式	300,000株
発行済株式総数	普通株式	100,000株

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たり純資産額	19,825円04銭
一株当たり当期純利益額	2,656円24銭

なお、潜在株式調整後一株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

当該事業年度後の剰余金の配当に関する事項

平成26年5月27日の開催の定時株主総会において、次のとおり決議している。

(イ)配当金の金額	30,000,000円
(ロ)一株当たりの配当金	300円
(ハ)基準日	平成26年3月31日
(ニ)効力発生日	平成26年5月27日

税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因

未払事業税	3,181千円
繰延税金資産合計	3,181千円

リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、車両運搬具、AEDについては、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

金融商品に関する注記

金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については預金等に限定し、銀行等金融機関からの借入により資金を調達しております。

未収入金等に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に従ってリスク低減を図っております。

金融商品の時価等に関する事項

平成26年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
資産			
（1）現金及び預金	557,661,067	557,661,067	—
（2）未収入金	34,046,660	34,046,660	—
（3）施設未収入金	20,756,919	20,756,919	—
（4）長期性預金	2,500,000,000	2,500,000,000	—
負債			
（1）1年以内返済長期借入金	478,616,000	478,616,000	—
（2）未払金	32,603,988	32,603,988	—
（3）預り金	163,094	163,094	—
（4）長期借入金	5,642,066,000	5,642,066,000	—
（5）受入保証金	527,639,552	527,639,552	—

資産について

時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

負債について

時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。